

高速道路建設推進議員連盟・地方六団体合同会議で松形宮崎県知事が挨拶
(全国知事会)

8月9日(金)、高速道路建設推進議員連盟と地方六団体との合同会議が開催されました。

会議では、同連盟の村岡兼造会長の挨拶の後、地方六団体等の代表の挨拶・意見発表と出席者による意見交換が行われました。

当日は、本会から副会長の松形宮崎県知事、建設運輸調査委員会委員の大田徳島県知事等が出席し、本会を代表して松形宮崎県知事が、九州の高速道路の実例を説明し、「地方の意見を尊重し、反映させることなど5項目について、道路関係四公団民営化推進委員会や政府に対して主張したいと考えている。」と挨拶・意見発表を行いました。

なお、松形宮崎県知事の挨拶・意見発表要旨、本会の出席者及び地方六団体等の代表者は、次のとおりです。

高速道路建設推進議員連盟・地方六団体合同会議における 全国知事会代表松形宮崎県知事あいさつ・意見発表メモ

本日は、高速道建設問題について、地方六団体の代表にまで意見を述べる機会を与えていただき、深く感謝申し上げます。

また、日頃より関係議員の皆様方には、各都道府県等が行う事務・事業に対してご理解とご協力を賜り、この場を借りて厚くお礼申し上げます。

私は、全国知事会を代表して一言挨拶・意見を申し上げます。

ご案内の通り現在、道路関係四公団民営化推進委員会において今後の高速道路のあり方について調査・審議されているが、議論の中心は、採算性や債務処理となっているところである。

しかしながら、御承知のとおり、高速道路網は、地域経済の活性化や国土保全機能維持のための定住促進など、単に採算性の問題などでは片付けられない機能を有しており、国土の均衡ある発展を図る上からも国の責任において整備すべきものと考えている。

九州の高速道路を例に申し上げますと、九州縦貫自動車道と長崎・大分間の横断道路は、幹線道路としてほぼ完成している。

しかしながら、九州の東部を縦貫する東九州自動車道や、九州の中央部を横断する九州横断自動車道延岡線については、その整備は緒についたばかりであり、循環型の高速度交通ネットワークが形成されておらず、このことが、九州の一体ある発展の大きな障害要因となっている。

特に東九州自動車道は、総延長約400kmのうち、約80km(20%)が完成したにすぎない。宮崎県は、その約200kmを占めており、27km(14%)の完成にとどまっている。

全国知事会としては、高速道路網の整備について、推進委員会に対し次の5点をヒアリングにおいて強く主張し、今後も推進委員会や政府に対して主張したいと考えている。

- 1 地方の意見を尊重し、意見が反映されるよう配慮すること。
- 2 整備計画 9,342km の早急な整備及び法定予定路線 11,520km の着実な整備。
- 3 全国料金プール制により、従来以上に整備を促進し、地方に新たな負担を求めないこと。また、民営化に際しては、債務超過などを地方に負担転嫁しないこと。
- 4 新たな組織における高速道路の運営は、利用者の利便性及び環境対策等についてより一層考慮すること。
- 5 道路特定財源については、道路の役割や地方の現状などを踏まえ、必要な財源を確保すること。

本議員連盟の設立目的である、「全国高速道路の早期建設完工を期する」よう、全国知事会として応援させて頂くとともに、今後も高速道路網の早期形成に向け、お互いに連携していくことをお誓い申し上げます。

平成14年8月9日

全国知事会副会長
宮崎県知事 松形 祐堯

本会の出席者

北海道・東北 ブロック	青森県副知事	山口 柁 義
関 東 "	山梨県出納長	富田 重 利
東海・北陸 "	岐阜県副知事	奥村 和 彦
近 畿 "	和歌山県出納長	大平 勝 之
中 国 "	鳥取県副知事	平井 伸 治
四 国 "	徳島県知事	大田 正
九 州 "	宮崎県知事	松形 祐 堯

地方六団体の代表者

全国知事会	宮崎県知事	松形 祐 堯
全国都道府県議会議長会	岐阜県議会議長	高田 藤 市
全国市長会	兵庫県三木市長	加古 房 夫
全国市議会議長会	愛知県一宮市議会議長	神戸 秀 雄
全国町村会	福岡県添田町長	山本文 男
全国町村議会議長会	群馬県草津町議会議長	山田 寅 幸
全国高速道路建設協議会	沖縄県議会議長	伊良皆 高 吉